

20年後、30年後の故郷を思い...

片桐英数塾通信

高3生も中3生も、本当に良い緊張した顔つきで頑張っています。まだまだ受験も控えているというのに、「こんなことを書いては不謹慎なのかもしれないが、頑張る人の姿とは美しいものだ」と感動してしまいます。「はよ終わって欲しい...」という声をよく耳にします。さぞや苦しいことと存じます。しかし、傍から見てみると、とても輝いて見えますよ。今、この経験で得ているものは合格ばかりではなく、さらに尊い人間としての力です。

受験もさることながら、卒業もすぐ目の前までやってきています。今年も3年生が巣立っていくのか...、と思うと、正直なところ寂しい気もしております。ま、どうせ、夏頃には遊びに来てくれるかな...。来ないかもしれないが、それはさて置き、この頃、ちよつと気になる事があります。これは、私だけが感じていないことなのかもしれないです。はつきりとは分らないのですが、そのことについてみようと書いてみます。こんなことを感じている人もいるんだと、さりとて読んで頂ければ幸いです。

昨年、大学へ進学し、長期休暇での帰省ついでに塾に顔を出してくれた子がいました。彼と話していて、そういや、彼は一人っ子だったと思ひ「卒業したら帰って来るんやろ?」と聞いたところ、「もちろん帰ってきたいです。けど、国内でさえ就職は難しいし、外国で生きていくことさえ覚悟しなければならぬと考えているんです。」と聞かされた時、私は何かに殴られたようなショックを受けました。

In summer,
We talked so much
about our future...



身内が病気をしたり健康の問題が起きてくると、自分も家庭もどうしても元気が無くなつてきます。人とは老いゆくもので、若いうちには気にも留めてなかったことが、時を重ねる歳を重ねるに従って、問題となつて現れます。例えば、両親が若いうちは親に心配させるのが子の務めのようなところがあつたのですが、両親も徐々に老いてゆくと、子供としてはどうしても両親の健康が気になり始めます。そんな時、親元近くにいられたら、親元近くにいるのがいいけれど、親元近くにいると、不安でたまりなくなるものです。そんなことは分かった上で、就職を求めて外に出ていこうとしているように感じます。分かってはいるけれど、それでも、就職を考えると仕方がない。恐らく、多くの子が、そのような思いを胸に秘めているように感じています。昔は、都会に憧れて、より良い何かを求めて外へ出て行こうとしていたものが、今は、外へ出る目的が、就職が目的であり、生活が目的となつてきているように感じます。何とも世知辛い世の中になつたものだと思います。

ちよつと話は飛びますが、自分って家族・家庭に支えられて自分が元気でいられます。自分が元気で、家族・家庭にも活力が出てきます。逆に家族・家庭が元気でなくなれば、自分だって元気が無くなるものです。これは社会と家庭との関係も同じだと思ひます。家庭の元気が無くなれば社会の元気が無くなる。社会の元気が無くなれば、家庭の元気が無くなつて、自分の元気が無くなつて無くなつてしまふ。

そう言えば、最近、「帰ってきたい。けど就職を考えると帰れない。」と言う子が多くなつたように感じます。昔からのなにかもしいのですが、どうも、最近この言葉をよく耳にするもので、とても気になります。

この地元が大好きです。何が好きと言っても特に自然が大好きです。朝焼けに染まる讃岐山脈。いくら見ても飽きない燦爛(ひうちなだ)。庄内半島から見る海に沈んでゆく夕日なんて、本当に感動します。実際、学生時代に、名古屋出身の友人が遊びに来ていて、この自然の素晴らしさに感動し、本気でここで暮らそうかと考えていたくらいですから、地元以外の人が見ても美しいものなのでしょう。

この地元が大好きです。何が好きと言っても特に自然が大好きです。朝焼けに染まる讃岐山脈。いくら見ても飽きない燦爛(ひうちなだ)。庄内半島から見る海に沈んでゆく夕日なんて、本当に感動します。実際、学生時代に、名古屋出身の友人が遊びに来ていて、この自然の素晴らしさに感動し、本気でここで暮らそうかと考えていたくらいですから、地元以外の人が見ても美しいものなのでしょう。



...Then winter came,
We tried our best to get
a good grade...

20年後、30年後という将来に少々の不安を覚えてしまいます。経済のこともありますが、しかし、一番気になるのは、家庭の元気が無くなり、地域社会の元気までなくなつてしまふかも知れないことです。もちろん、私の思い過ぎなのだと思うのですが、いつかは問題提起したいと考えておりましたので、思い切つて書かせて頂きました。だからと言って、これから外へと向かつて行く子らに「地元を思うのなら無理にでも帰つて来い」と言っているのではありません。分かります。分かります。

先日、とある教育界の方とお話をしておりました。「これからは特に感受性が大事だ」と仰つてました。全くその通りだと思ひます。感じることも感動することでもなく、論理や知識を学んでも、それは役に立たないと思ひます。もちろん、そのテストで及第点を取ることは役に立つのでしようが、感じたり感動したりが出来てこそ、論理や知識を駆使して、何かを作り出すとするのであつて、感受性こそが何より大切なものだと思います。その感受性というものは、その土地から何かを感じることで育まれていくものだと思います。山や空や海や、

その土地ならではの景色を見て、綺麗だと思つただけでも感受性は育まれていると思ひます。グローバル化によって、境界がなくなり一つにまとまり、世界は狭く近くなつていきます。だから、わざわざ外に出ていかなくても、ここから外の世界へとアプローチする手段は昔に比べ多くなつています。世界は多極化しているのだから、自信をもつてここを一つの極にすれば良いのではないのでしょうか。この地元に育んだ感受性で、世界に通じる力に身に付くはずですよ。大平総理大臣の「田園都市構想」は、きっとこの土地で育まれた力が少なからず影響しているのだから。

ここから外へ出て力を付ける人がいて、そこを拠点にする人がいて、そういう世界に通じる力の出入りがある、新たな何かが生まれてくるように思ひます。それに、本当の国際人とは、自分の生まれ故郷を愛し、自分の信ずるものを持つ者です。

その土地ならではの景色を見て、綺麗だと思つただけでも感受性は育まれていると思ひます。グローバル化によって、境界がなくなり一つにまとまり、世界は狭く近くなつていきます。だから、わざわざ外に出ていかなくても、ここから外の世界へとアプローチする手段は昔に比べ多くなつています。世界は多極化しているのだから、自信をもつてここを一つの極にすれば良いのではないのでしょうか。この地元に育んだ感受性で、世界に通じる力に身に付くはずですよ。大平総理大臣の「田園都市構想」は、きっとこの土地で育まれた力が少なからず影響しているのだから。

Now, each of us is going in
our own ways with lots of
memories...



その土地ならではの景色を見て、綺麗だと思つただけでも感受性は育まれていると思ひます。グローバル化によって、境界がなくなり一つにまとまり、世界は狭く近くなつていきます。だから、わざわざ外に出ていかなくても、ここから外の世界へとアプローチする手段は昔に比べ多くなつています。世界は多極化しているのだから、自信をもつてここを一つの極にすれば良いのではないのでしょうか。この地元に育んだ感受性で、世界に通じる力に身に付くはずですよ。大平総理大臣の「田園都市構想」は、きっとこの土地で育まれた力が少なからず影響しているのだから。

その土地ならではの景色を見て、綺麗だと思つただけでも感受性は育まれていると思ひます。グローバル化によって、境界がなくなり一つにまとまり、世界は狭く近くなつていきます。だから、わざわざ外に出ていかなくても、ここから外の世界へとアプローチする手段は昔に比べ多くなつています。世界は多極化しているのだから、自信をもつてここを一つの極にすれば良いのではないのでしょうか。この地元に育んだ感受性で、世界に通じる力に身に付くはずですよ。大平総理大臣の「田園都市構想」は、きっとこの土地で育まれた力が少なからず影響しているのだから。

その土地ならではの景色を見て、綺麗だと思つただけでも感受性は育まれていると思ひます。グローバル化によって、境界がなくなり一つにまとまり、世界は狭く近くなつていきます。だから、わざわざ外に出ていかなくても、ここから外の世界へとアプローチする手段は昔に比べ多くなつています。世界は多極化しているのだから、自信をもつてここを一つの極にすれば良いのではないのでしょうか。この地元に育んだ感受性で、世界に通じる力に身に付くはずですよ。大平総理大臣の「田園都市構想」は、きっとこの土地で育まれた力が少なからず影響しているのだから。

その土地ならではの景色を見て、綺麗だと思つただけでも感受性は育まれていると思ひます。グローバル化によって、境界がなくなり一つにまとまり、世界は狭く近くなつていきます。だから、わざわざ外に出ていかなくても、ここから外の世界へとアプローチする手段は昔に比べ多くなつています。世界は多極化しているのだから、自信をもつてここを一つの極にすれば良いのではないのでしょうか。この地元に育んだ感受性で、世界に通じる力に身に付くはずですよ。大平総理大臣の「田園都市構想」は、きっとこの土地で育まれた力が少なからず影響しているのだから。

その土地ならではの景色を見て、綺麗だと思つただけでも感受性は育まれていると思ひます。グローバル化によって、境界がなくなり一つにまとまり、世界は狭く近くなつていきます。だから、わざわざ外に出ていかなくても、ここから外の世界へとアプローチする手段は昔に比べ多くなつています。世界は多極化しているのだから、自信をもつてここを一つの極にすれば良いのではないのでしょうか。この地元に育んだ感受性で、世界に通じる力に身に付くはずですよ。大平総理大臣の「田園都市構想」は、きっとこの土地で育まれた力が少なからず影響しているのだから。

ご卒業おめでとう

中3生、高3生の皆さん、卒業おめでとう！皆さんが、将来大きく羽ばたいて、社会で活躍することを切に願っています。片桐英数塾は、卒業後もずっと皆さんのことを応援しています。卒業生の皆さんへ、心をこめて、この言葉を贈ります。

The future belongs to those who believe in the beauty of their dreams.

未来は、自分自身の夢の美しさを信じる者の手にある

すべての受験を終えた高3生の皆さんは、合格大学について坂本教室まで必ずお知らせください。

体験談へのご協力をお願いします。また、卒業後も塾から近況を尋ねることがあると思います

ので携帯アドレスを変更した時には塾まで連絡をください。

満開の桜が咲き誇る希望に満ちた春を迎えられますように...

坂本教室の3月の休日は、4日(日)11日(日)18日(日)25日(日)です。

塾からのお知らせなどをホームページにて配信！メールでの連絡はこちらまで！

<http://www.katagirijuku.com>

katagirijuku@docomo.ne.jp

塾スタッフ募集のお知らせ

塾運営全般をサポートして下さるスタッフを募集しています。

☆求める人材 4年生大学卒以上、人と接することが好きな方

☆仕事内容 電話応対、受付業務、教務補助など

☆勤務時間・曜日 月曜日～土曜日(15:00～22:00)相談可

※ 面接にて決定致しますので、まずは坂本教室までご連絡ください。

保護者の方へお願い

お迎え時の車の混雑について、保護者の皆様にご理解とご協力をお願い致します。お迎えの際には、駐車場内の安全走行、エンジン停止にご協力いただくとともに、ご近所出入口などの路上待機、他の駐車場の無断使用などはご遠慮いただきますようお願い申し上げます。